

日 時：2月10日（木）18：00～19：30

場 所：オンライン（zoom会議） 17：30～入室可能

出席者：23名（敬称略）

長谷川守、脇本和幸、丹野修、陣野益実、古谷一祐、横井行男、小勝眞佐枝、榎田幹夫、瀬川真治、丸山正、枝澤修、飯塚義則、臼井治子、鈴木幸代、藤岡眞、三井大造、葛西宗紀、菅原耕、飯島雅巳、浅井記子、宮入芳雄、山口茂、田川裕則

欠席者（事前連絡者）：（敬称略）

野間直樹、小川里花、入江克昌、芝原久、久保雅春

司会：議事進行：長谷川守 書記：臼井治子

## 議 題

（以下敬称略）

### （1）全体（確認・連絡・報告事項）

#### 1, F I T運営委員会（森の日）報告（長谷川）

- ・12月の森の日議事録を参照
- ・3月12日（土）13：00～ 林野会館F5にてFIT総会開催予定

#### 2, 事業部会内・2021年度収支決算報告及び2022年度予算（案）について（丹野・長谷川）

[2021年度収支決算報告：2月10日現在] 別紙参照：了承

- ・FIT交付金は、¥50,834円を返金（クラフトイベントが中止になった為）
- ・事業部会の収支は¥17,238円のマイナス。次年度繰越金は¥212,007円となる。

[2022年度予算（案）] 別紙参照：了承

- ・22年度事業部予算（FIT交付金）の項目にHPのレンタル料が計上されているが、他の部会にはないので不公平ではないか。事業部会予算があるのでそれを使ったらどうか。（丸山）
  - ➡ 事業部会のHPで扱う情報量は他の部会に比べて格段に多い、HPの内容を充実させるのに使えるツールが多いことでレベルアップにつながる。FIT交付金で対応する事は問題ない。広報部会も計上している。
- ・クラフトの謝金（¥441,000-）が採用されなかった理由は。
  - ➡ 活動謝金はあくまで事業部会案なので森の日で議論の結果、収支バランスを見て2022年度は従来通りという事になった。
- ・事業部会予算が3万増えて26万になったことは良かった。

#### 3, 事業部会・来年度役員・担当（案）について（長谷川）

- ・先月の報告内容での役員人事となる。決まっていないところは今後対応するが、来年度はこれで事業部会をスタートさせていく。

#### 4, 事業部会HP及びMLの現況（参加人数など）（飯塚）

- ・MLについては新規登録は無く、現在149名。
- ・HPの状況については2022年1月末までの活動はすべて掲載済みで、来年度以降の掲載の体制は準備が整っている。GCに関しては榎田さんにやってもらっている。
- ・HPのレイアウトの入れ替えで見やすくなっている。活動報告はFIT・HPに反映されないということだったが反映されている。チラシや内部活動等がFITHPにどう反映されるか不明確だが、良くなる事を期待している。
- ・来年度は飯島さんが維持管理をしてくれるので、より充実したい。
- ・FIT活動報告を、投稿者の意図を事業部会HPに反映できるようにしたい。

### （2）各担当の報告等について

#### 1. 森林ふれあい推進事業

##### 1) 体験参加者の応募状況について（脇本）

- ・3/9実施の「春の健康ハイキング～」に2人参加予定。
- ・1/28に体験参加募集メールを発信。

##### 2) 関東森林管理局・イベント実施団体に応募（2022.1.24付）

➡ 締め切り(2/17)後に精査し、決定通知等を出す予定との事。(例年通り)

3) 令和4年度(2022年)ふれあい企画会議等の日程(長谷川)

- ・企画(案)検討会議(2021.12.10)、企画会議(2022.1.9)は実施済み。
- ・新入会員に対する森林ふれあい推進事業の説明 2022年2月12日(土)森林センター
  - ➡ 2月12日の説明会は1月24日に添付した説明スケジュールの通り進行予定。全体進行は長谷川、親子自然観察会は古谷さんをお願いする。
  - ➡ 今のところ新会員の参加は5名となっており、新会員の人数も10名と少ないため、親子観察会ができるか不安である。今後、事業部会で対応を考えていく必要がある。
  - ➡ 当日は密にならぬように工作室にて説明するが、それぞれがA4 1~2枚に分かり易くまとめた資料を作り説明してほしい。10時からだがセッティングもあるので少し早めに来てほしい。

4) 実施マニュアルの見直し(案)について / 意見を伺う(脇本)

- ①ふれあい実施マニュアルの「50人を上限とする」を現在のコロナ下で大集団、大人数のイベントを避けるということで「30人を上限とする」に変更し、「1班10名以内基本」を「1班6名程度が理想」に変更する(アンケートに班の人数が多いと説明が聞き取りにくい等の意見あり)
- ②安全と救護を担当するスタッフは講師から選任を安全と救護を担当するスタッフは講師またはアシスタントから十分経験のあるものを選任と変更。
- ③参加者50人超の場合の協議は、削除。
- ④主幹事手当の支給を追加
- ⑤体験参加資格者に友の会会員を参加可能とする。

[ 意見 等 ]

- ・この見直し(案)は何時検討されたのか。3月末まではコロナ禍で人数を抑えているが今後すべてのイベントで30名となるのか?その根拠は?(丸山)
  - ➡ふれあいイベント担当として見直しをした。30人という人数は現在のコロナ禍でセンターとの話し合いで決まっている。今後どうなるかはわからないが、マニュアルはその時の実情に合わせて変えていく。(脇本)
- ・人数の問題は変更前のままでよいが、現在の状況(コロナ禍の状況、30人上限)の付則を付けるということで良い。「講師、アシスタントから選任する」で良い。(瀬川)
- ・アンケートで7~8名という人数では説明がいきわたらないというのはスキルの問題もある。1班10名から6名になると班長が休んだりしたときに融通が利かなくなる。現在の30人という人数の上限に関しては補足(付則対応)でよい。安全と救護の担当は責任が重いためアシスタントでは心配なので、現状でよいと思う。体験参加者はFIT会員を最優先させたい。(長谷川)

[ 対応 ]

2022年度のイベント実施団体として決定通知を受け、関東森林管理局と協定書を結んだ後に、協定書および実施仕様書の内容に沿うように、事業部会長、ふれあいイベント担当(正・副)で見直し(案)を検討する。(長谷川)

(実績)

- 1) 相模湖から小仏城山を経て高尾山頂へハイキング 2022.1/18(藤岡)
  - ・参加希望者36名だったので30名としたが、当日はコロナの拡大もありキャンセルが増えて24名の参加となった。1週間前の下見は雨だったので雪も考えて軽アイゼン、太さ6mm、長さ30mのザイルも持って行ったが、本番は快晴となり使用しなかった。班は最初4班だったがその後5班にしたのだがキャンセルもあったため4班でもよかった。参加者には満足して頂いた。
- 2) 魅力満載・冬の高尾山を歩く 2022.2/3(長谷川)
  - ・コロナ拡大で2~3日前からキャンセルが増えた事、東京都で感染者が2万人を超えた事を考慮し、スタッフで協議し、中止とした。(応募者54名、スタッフ6名、体験参加者2名)  
1/27に下見をスタッフ、体験参加者で実施し、ふれあいイベントについて種々の体験をした。(予定)
- 1) 春の健康ハイキング~北高尾の森で春を探そう~ 2022.3/9(脇本)
  - ・1/28読売新聞、2/7定年時代に掲載され、現在27名で定年時代を見ての応募が多かった。スタッフは5班集体でアシスト2名の予定している。(体験参加者2名)
- 2) カカリ・シュラン・ベニダレザクを訪ねる春風ハイキング 2022.3/25(小勝)
  - ・現在の応募は14名(メール)だが2/3にアサココに掲載された。アサココでは往復はがきでの応募となっていたため、センターではがきの確認をする。スタッフは班長4名、アシスト2名計6名

の予定。

来年度ふれあいイベントの一覧表を当日配りたい。➡印刷も含めて対応したい。

- 3) 高尾山 春の親子自然観察会 2022.3/27 (葛西)
  - ・現在チラシを森林ふれあい推進センター、599 ミュージアム、観光案内所、清滝駅に置いている。マスコミ掲載は2/4は読売新聞、2/8に東京新聞に掲載されたが、現在の応募は1組2名。1/28に事前踏査(下下見)に行ったが引き続き準備を進めていく。班長5名を予定。
- 4) 「春の香りに誘われて」スミヤクハア材がひっそり咲く日影沢へ 2022.4.12 (鈴木)
  - ・参加者30名、班長4名、アシスタント2名の計6名で実施の予定である。新聞掲載に関しては状況を見ながら考えていく。
  - ・チラシの印刷は森林ふれあい推進センターの了解後にしてほしい。(長谷川)
- 5) 三山踏破(陣馬山・景信山・高尾山) 2022.5.11 (脇本)
  - ・順次、準備を進めていく。
2. 田園調布学園土曜講座(小勝)
  - ・2021年にはコロナ下で8講座中3講座しかできなかったため2022年講座一覧では同じ講座があるが、できなかった講座をもう一度入れてあるためである。
  - ・6/25日に予定している深申さんの講座は場所を「進化生物研究所」に変更して行う。まだ学校側からの連絡がないため人数は未定である。
3. クラフト等イベント担当(丸山・枝澤)  
(予定)
  - ・クラフト研修会 2022.4/2(土) 高尾森林ふれあい推進センター  
➡参加者募集をMLで行う。
  - ・2/12の事業部会説明会で、今後のクラフトイベントの予定を説明する。
  - ・“みどりとふれあうフェスティバル”は日比谷公園から木場公園に変更して実施予定(5/14, 5/15)。「東京都野鳥公園」イベント(5/15)は日程が重なる為、不参加を検討している。(丸山)
  - ・2021年度のクラフト行事はコロナの影響ですべて中止となったが、本年度は出来るとよい。(枝澤)
4. 高尾山GC作戦(楨田)
  - ・実績:2月5日(土) 稲荷山コース➡中止 ・予定:3月5日(土) 日影沢コース
  - ・2021年度のGCは5回実施でき、延べ参加人数は156名であった。2022年度は新スタッフに中林さんを加え、10名体制で行う。(中止:雨天1回、コロナ6回)
5. 低山はいかい(瀬川)
  - ・実績:1月30日(水) 多摩の横山~防人の道を歩く(参加18名) 主幹事:古谷
  - ・予定:2月23日(水・祝) 黒山三滝から義経伝説の顔振峠を歩く 主幹事:福田
6. 外部案件(横井) 別紙参照
  - ・実績 都立桜修館中等教育学校・2年生 高尾山フィールドワーク 2022.1/21(金)(瀬川)  
(生徒139人、先生6人、FITスタッフ17人-班長16人+統括)
  - ・14件中10件を終了した。コロナ禍の中桜修館中等教育学校の高尾山フィールドワークも実施済み。来年度はコロナの影響なく進められたらよいと思う。
7. 会計報告(丹野) 別紙参照
  - ・2021年度はふれあい6件(2020.3実施2件を含む)、外部案件7件(58名)の協力金を頂いた。
- (3) その他
  - ・参加者から自己紹介などコメントを頂いた。
  - ・2022年3月から2022年度に移行します。

以上